

陳 情 文 書 表

(子ども若者はぐくみ局)

受 理 番 号	3 6 7 2	受 理 年 月 日	令 和 4 年 9 月 29 日
件 名	民間保育園等職員の給与等運用事業補助金再構築後の制度の見直し等		
要 旨	<p>2022年2月市会では、民間保育園の補助金については、実施後に十分な検証を行い、状況によっては、影響の緩和等必要な措置を講じることとの付帯決議が出された。</p> <p>各園の実情について、十分な検証は行っていただけたのだろうか。一人一人の子供たちに発達特性があっても、その子の個性が大事にされる丁寧な保育、子育てに不安を感じる保護者の悩みや不安に丁寧に寄り添う保育、それらを保障するために各園がどのような努力をし、どのような職員配置をしているのか調べていただけたのだろうか。</p> <p>従前の民間保育園職員給与表で、最高号俸だったとしても年収650万円程しかないはずなのに、1,500万円もらっていた園の実態を調査されたのだろうか。今年は何とか積立金を取り崩して維持しても、来年度以降の運営が厳しいという園に対して、必要な措置は講じていただけたのだろうか。</p> <p>私たちは、京都市が4億円の黒字だったと報道されたことを踏まえて、今回の補正予算で何らかの緊急措置が講じられるものだと淡い期待をしていた。それが見事に期待外れとなってしまった今、現場の保育者は、もうこれ以上モチベーションが保てないと大きくショックを受けている。</p> <p>このままでは京都の保育が崩壊する。各園ごとに法人理事長、園長、職員それぞれから丁寧な聴き取りを行い、今までの保育が維持できるようにしてほしい。</p> <p>ついては、以下のことを願う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 民間保育園等職員の給与等運用事業補助金の制度について、これまで守ってきた子供たち一人一人が大事にされる保育が維持拡充できるように、少なくとも再構築前の制度に戻すこと。 2 個々の園の執行状況を把握し、不透明な運営がされている園に対して、監査・指導できる子ども若者はぐくみ局の体制づくりをすること。 <p>なお、本陳情について、署名355筆を添える。</p>		
陳 情 者			
回 付 委 員 会	教 育 福 祉 委 員 会		